

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和５年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名	新座市立野火止公民館及びふるさと新座館ホール			
所在地	新座市野火止 6－1－48		所管部署	教育委員会教育総務部
制度導入年度	平成30年度		選定方法	☐ 公募 / ☒ 指名
指定管理者	名称	株式会社セイウン	所在地	埼玉県さいたま市桜区田島 9-3 1-1
	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）		

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	野火止公民館・ふるさと新座館ホールを指定管理者として管理運営を行っている。条例に基づいた各室の貸出業務・施設の維持管理業務に加え、野火止公民館では、社会教育施設として講座の企画運営・自習室による市民の自主学習活動のサポート、ふるさと新座館ホールでは、文化振興施設として自主公演等の企画運営を行っている。
特筆事項	※ 運営において創意工夫した点や指定管理者の提案による新たな取組等を記載 本年度5月8日より新型コロナウイルスが感染症法上の第5類に引き下げられたことにより、3年ぶりに利用上の制限を撤廃しての運営となった。 ① 公民館事業 公民館講座は、年間を通して48種類130回の講座を行い、延べ1,514名の参加をいただいた。引き続き地域性を活かした質の高い講座運営に努め、コロナ禍では控えていた料理教室をはじめ、公的機関からの出張講座、市の歴史・自然を知る講座、大学教授や学芸員による専門知に触れる講座、サークルと連携した講座や新たなサークル活動を育成する講座などを行った。サークル育成講座においては、主催講座をきっかけとして、ノルディックウォーキング、大人の折り紙、ピラティス3サークルの立上に成功した。 ② ホール事業 好評のスタインウェイ演奏体験を継続した他、自主公演を6事業を行い、いずれも好評を得た。自主公演においては、プロとして活動する方々をお招きするのみならず、利用団体が主役となる成果発表会を2事業開催した。コロナ禍において、活動意欲の維持ややりがい、地域交流の機会が大きく損なわれている中で成果発表の場を設けることで利用団体のこれまでのそしてこれからの活動の後押しをおこなった。加えて成果発表公演の中で避難訓練も行い、利用団体とともに防災意識の向上を図った。成果発表公演の一つである、「第3回ダンスフェスタ」においては、来場者も一緒に舞台上がり踊るといったプログラムを組み込むことで、コロナ禍にはできなかった取組みなども行った。

【総合評価】

指定管理者の自己評価				
総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全て A 以上であり、S が二つ以上である。
	A	☐	適正	項目別評価総括が全て A 以上である（上記以外）。
	B	☒	課題あり	項目別評価総括に B が含まれている。
評価内容	指定管理期間2期目の2年目にあたる本年度は、量・質ともに積極的に事業展開を行った。公民館事業およびホール事業は当初の計画通り実施した。利用件数および利用料金については、大幅に回復しており、公民館はコロナ禍前の水準に、ホールはコロナ禍前を上回る結果となった。一方、利用人数についてはコロナ禍前の7割程度と回復が鈍化している。人が集まる施設づくりに向けて次年度以降取り組んでいきたい。 また、今年度は施設スペアキーの紛失、ロビースペースの制限など安全面・サービス面において施設管理者として事故を発生させてしまった。事故を発生させない体制づくりと利用者ファーストを考えた運営づくりに今一度取り組んでまいりたい。			
改善策	※ 評価 B の場合のみ記入 本社担当社員の定期的な点検を通して、管理研修・サービス研修を強化する。また、運営方法を変更するような場合は、現場のみの判断を排除し本社担当者の判断を仰ぐ体制づくりに取り組んでいく。			

市の評価

総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全て A 以上であり、S が二つ以上である。
	A	☐	適正	項目別評価総括が全て A 以上である（上記以外）。
	B	☒	課題あり	項目別評価総括に B が含まれている。
評価内容	サークルの数・会員数が共に減少傾向にある中で、サークル育成を目的として講座が開催されたことや、ホールでスタインウェイ演奏体験のほか、自主公演6事業のうち、2事業で利用者が主役となる成果発表会を実施したことは評価できる。 市民からの問合せや要望などに対しては、正確かつ丁寧な対応に努められたい。 今後も、指定管理者としてのノウハウや強みをいかし、地域の社会教育活動の拠点として、市民の文化芸術活動の拠点として、積極的に特色ある事業を展開することを期待する。			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

評価いただいたサークル育成など、生涯学習活動の活性化に向けた事業については、引続き取組んでまいりたい。
市民からの問い合わせや要望が増えていることについては、民間事業者が管理運営することのメリットの一つであるサービス向上から遠い結果となった。ロールプレイング研修などを行うことで、問題点の洗い出しに努め改善に取組みたい、

【過年度の評価結果まとめ】（所管部記入）

評価区分	令和元年度 （2年目）	令和2年度 （3年目）	令和3年度 （4年目）	令和4年度 （5年目）	令和5年度 （6年目）
指定管理者の自己評価	A	A	A	A	B
市の評価	A	A	A	A	B